

「大阪湾における藻場再生の意義と可能性」プログラム

開会挨拶 (9:30～09:40)

全国アマモサミット2018 in 阪南 実行委員会副委員長
沿岸環境関連学会

大塚 耕司
代表 今井 一郎

趣旨説明 (9:40～09:45)

全国アマモサミット2018 in 阪南 実行委員会副委員長

岩井 克巳

導入 (9:45～10:05)

第32回沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウムの議論を踏まえて

田中 丈裕 (NPO里海づくり研究会)

第1部 藻場の持つ機能や可能性、将来性 (10:05～14:00)

<キーワード:ブルーカーボン/ブルーエコノミー/ワイズユーズ>

1. アマモ場を含めた藻場の機能と役割 堀 正和 (水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所)
 2. 瀬戸内海のアマモ場の特性 ～多様性とその意義、および保全・再生にむけて～
吉田 吾郎 (水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所)
 3. 藻場とアマモ場による赤潮及び貝毒プランクトンの抑制効果 今井 一郎 (琵琶湖博物館)
- － 休憩 (11:35～12:30) －
4. 干潟の生態系サービスの“見える化” 岡田 知也 (国土技術政策総合研究所)
 5. 浅海生態系におけるCO2吸収量の全国推計 桑江 朝比呂 (港湾空港技術研究所)
 6. 沿岸域総合管理からブルーエコノミーへ 古川 恵太 (NPO海辺づくり研究会)

第2部 藻場とアマモ場を取り巻く施策と再生技術の現状 (14:15～15:15)

<キーワード:水産資源/国家施策/民間技術>

7. 水産庁における藻場保全・創造の取組 水産庁 漁港漁場整備部整備課 課長補佐 (設計班担当) 不動 雅之
8. 藻場・干潟の分布状況調査について
環境省水・大気環境局 水環境課閉鎖性海域対策室 室長補佐 坂口 隆
9. 播種シート工法によるアマモ場造成 東洋建設株式会社 金澤 剛
10. 環境修復再生技術の事例紹介 新日鐵住金株式会社

第3部 大阪湾の現状と地域行政の取組み (15:30～16:20)

<キーワード:大阪湾の藻場/大阪湾沿岸の施策・事例>

11. 大阪府の取組み 大阪府 水産課
12. 大阪湾再生の取組み 国土交通省近畿地方整備局
13. 大阪湾における藻場再生・環境再生の現状 吉村 直孝 (一般社団法人生態系工学研究会)

第4部 総合討論 (16:30～17:30)

～大阪湾における藻場再生の現状と将来性～

コーディネーター:大阪府立大教授 大塚 耕司

閉会挨拶 (17:30)

水産学会 水産環境保全委員会 委員長 門谷 茂